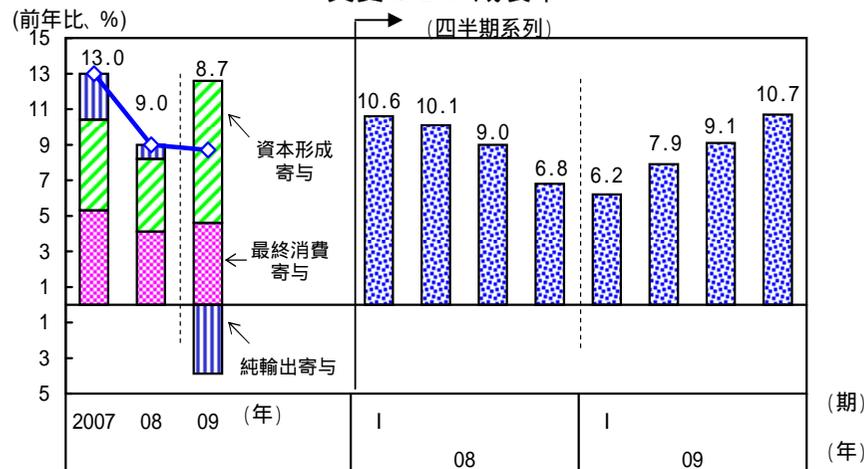


## 2. アジア地域

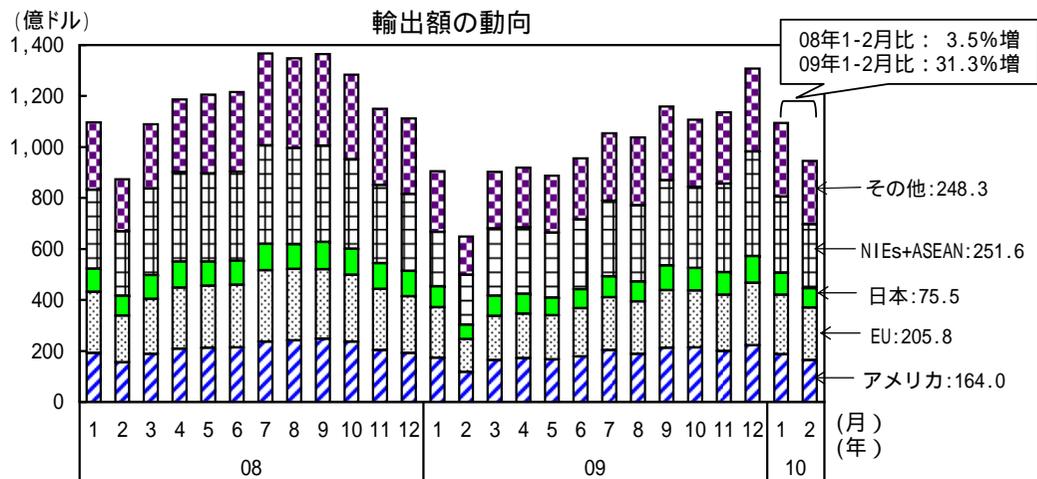
中国： 中国では、景気刺激策の効果もあり、景気は内需を中心に拡大している。先行きについては、引き続き内需が堅調に推移するとみられることから、拡大傾向が続くと見込まれる。ただし、マネーサプライの急増によるリスクには留意する必要がある。

### 実質 GDP 成長率

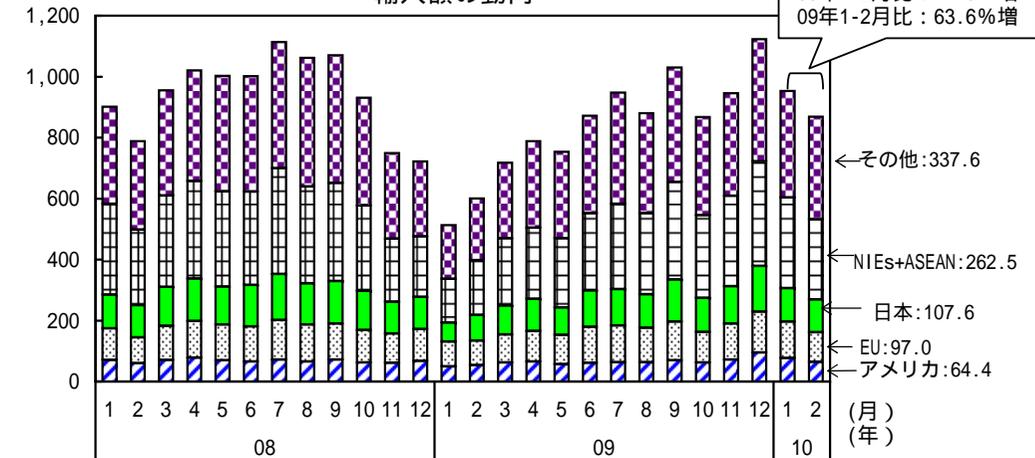


- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。  
 2. 中国人民銀行の試算によると、中国の前期比年率の GDP 成長率は、08年10-12月期4.3%、09年1-3月期9.5%、4-6月期11.4%、7-9月期11.0%、10-12月期11.3%。  
 3. 基準改定のため、09年以降の数値は接続していない。

### 輸出は持ち直している

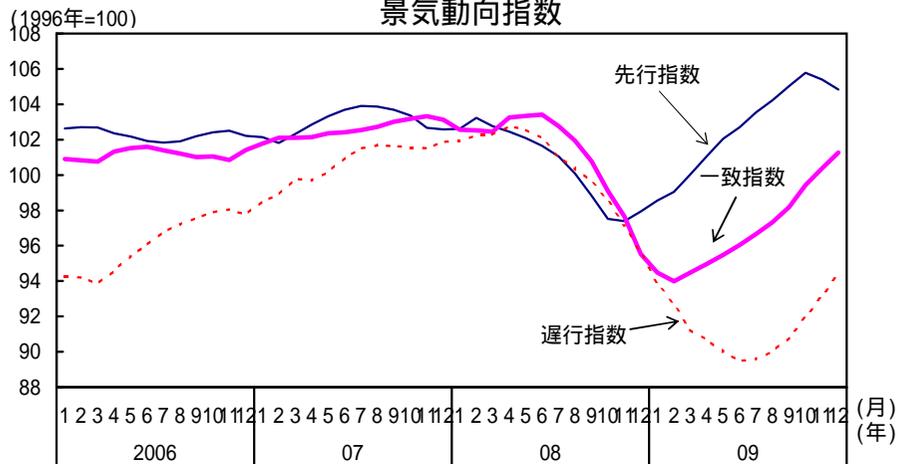


### 輸入額の動向



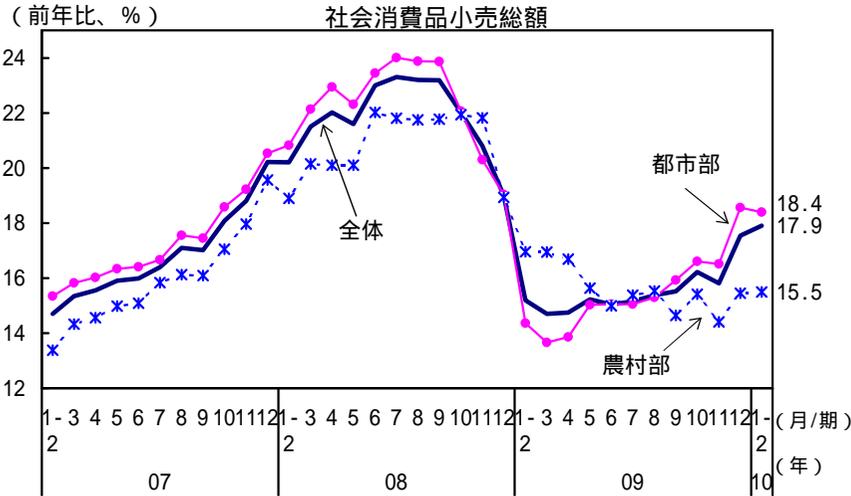
- (備考) 1. 中国海関総署より作成。  
 2. グラフは原数値。  
 3. 春節(旧正月)は、08年2月6~12日、09年1月25~31日、10年2月13~19日。

### 景気動向指数



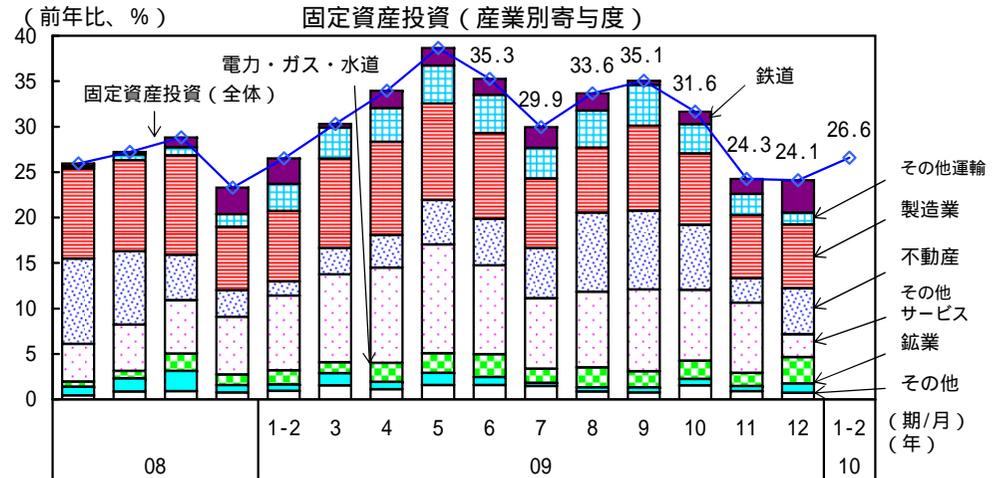
- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。  
 2. 一致指数は鉱工業生産等の8指標、先行指数は消費者期待指数等の8指標、遅行指数は個人預金残高等の5指標から構成されている。

### 消費は堅調に増加



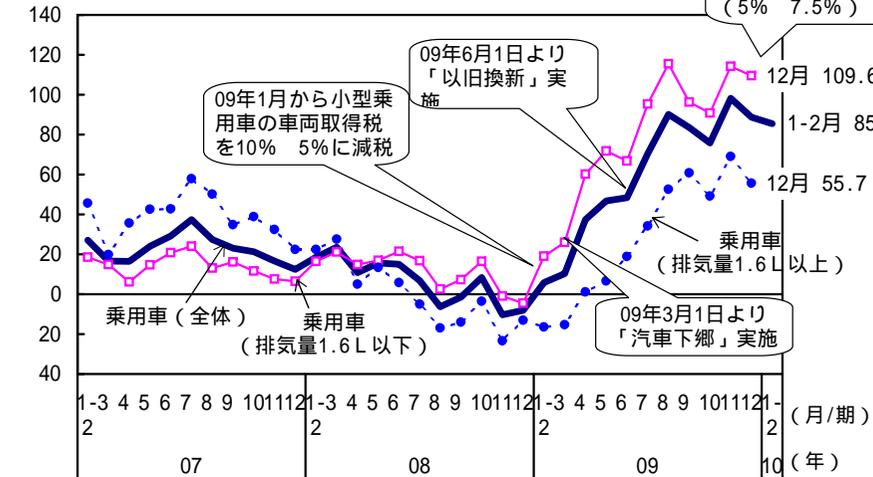
- (備考) 1. 中国国家统计局より作成。  
 2. 08年のシェアは、都市部68%、農村部32%。  
 3. 中国では、消費刺激策として、排気量1.6l以下の乗用車の車両取得税の減税(09年1月~10% 5%、なお10年1月からは7.5%)、農村における家電の普及政策(「家電下郷」)の全国展開(09年2月~)、農村における自動車の普及政策(「汽車下郷」)(09年3月~)を実施している。さらに、09年6月から、自動車の買換え促進策や、9省・市において試験的に家電の買換え促進策を実施している(「以旧換新」)。

### 固定資産投資は高い伸びが続いている



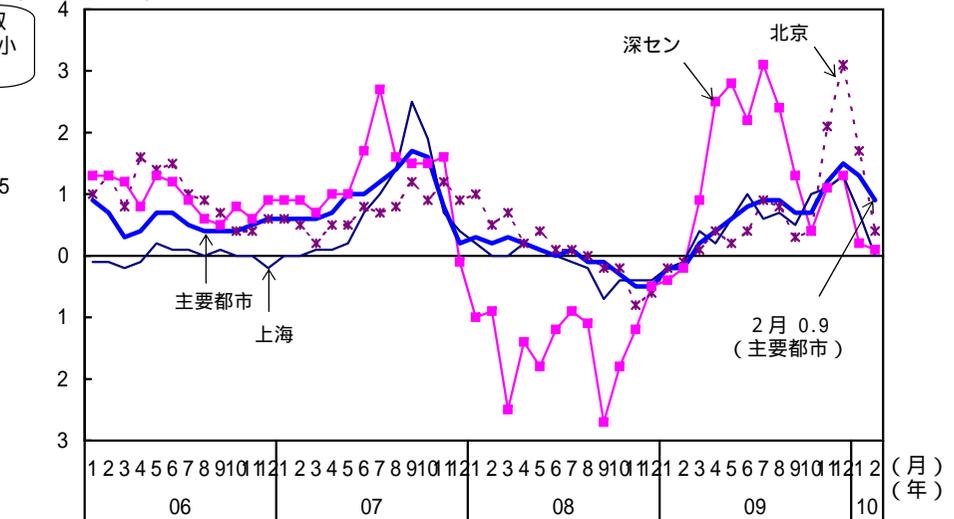
- (備考) 1. 中国国家统计局「都市部固定資産投資」より作成。  
 2. 県以上のレベルの政府機関、企業等によって実施される投資プロジェクトで、中国全体における固定資産投資の86%(08年)を占める。  
 3. 不動産開発投資については、09年11月に土地購入費に関する統計の変更が行われた。

### 乗用車販売台数は政策効果もあり大幅に増加



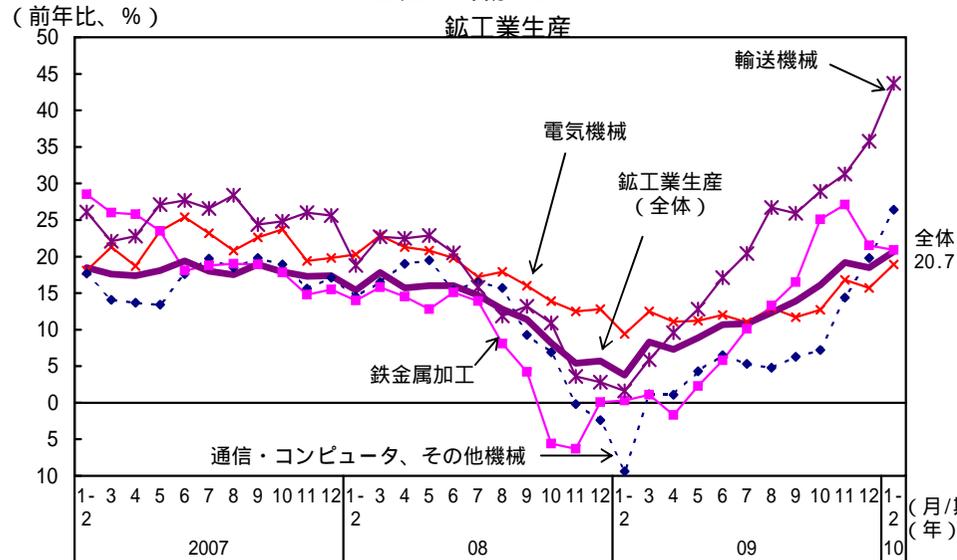
(備考) 中国汽車工業協会より作成。

### 主要都市建物販売価格(前月比、%)



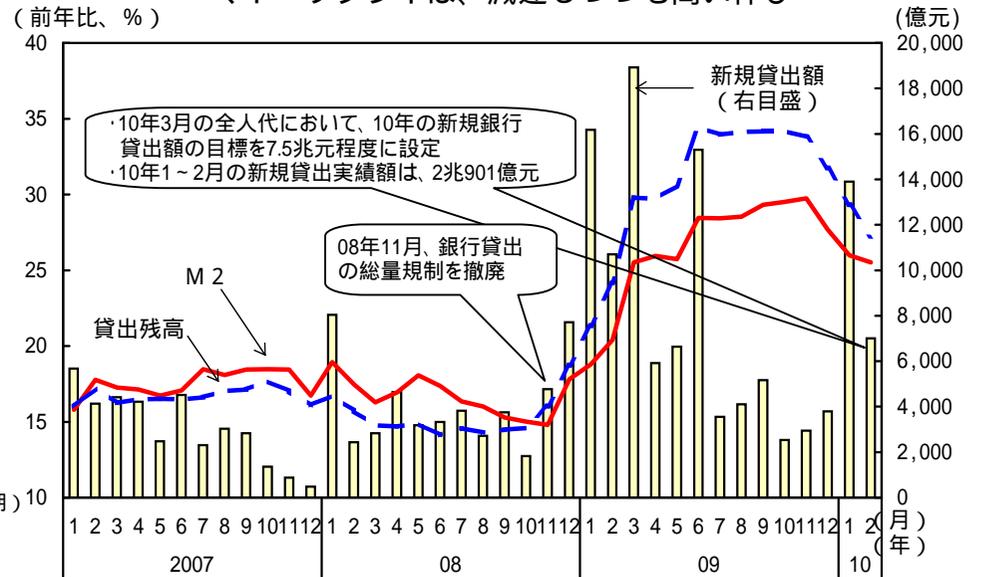
(備考) 中国国家统计局より作成。

### 生産は増加している



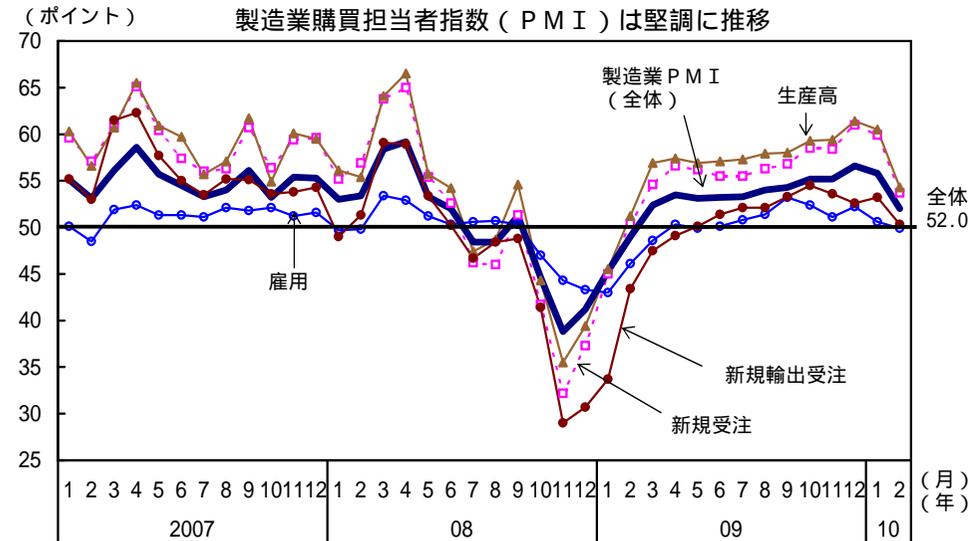
(備考) 中国国家统计局より作成。

### マネーサプライは、減速しつつも高い伸び



(備考) 中国人民銀行より作成。

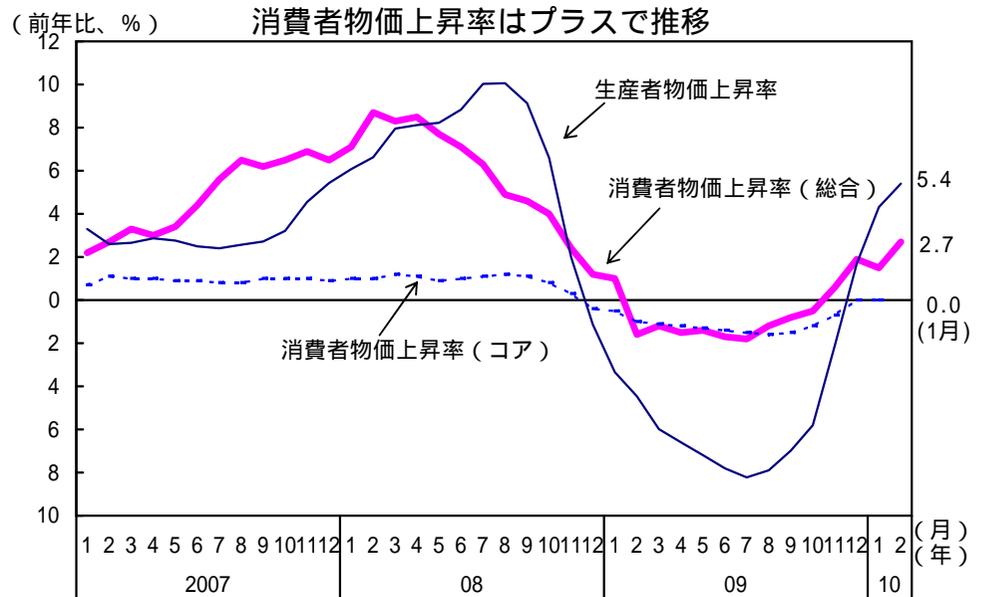
### 製造業購買担当者指数 (PMI) は堅調に推移



(備考) 1. 中国国家统计局より作成。

2. 製造業PMIは、製造業の業況に関わる11の項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計したもの。製造業PMI (全体)は、生産高、新規受注、原材料在庫、雇用、サプライヤー納期の5つの指標から合成される。PMIが50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。

### 消費者物価上昇率はプラスで推移



(備考) 中国国家统计局より作成。

全国人民代表大会（概要）  
（2010年3月5日～14日開催）

2010年の主要目標

	10年の目標値	(09年の目標値)	09年実績
経済成長率	8%前後	8%前後	8.7%
都市部新規就業者	900万人以上	900万人以上	1,102万人
都市部失業率	4.6%以下	4.6%以下	4.3%(年末)
CPI上昇率	3%前後	4%前後	0.7%
M2増加率	17%前後	17%前後	27.7%(年末)
新規銀行貸出	7.5兆元前後	5兆元以上	9.6兆元
社会消費品小売総額の伸び	15%	14%	15.5%
全社会固定資産投資の伸び	20%	20%	30.1%

経済運営の基本方針

安定した比較的速い経済成長を保持

- 引き続き「積極的な財政政策」と「適度に緩和された金融政策」を実施  
経済の発展パターンの転換や経済構造の調整に重点

インフレ期待を巧みに誘導

人民元については、「引き続き人民元為替レートの形成メカニズムを充実させ、合理的な均衡水準における人民元為替レートの基本的な安定を保つ」と昨年と同じ記述

なお、地方政府の債務に対する管理の強化に言及（「融資プラットフォーム（地方政府が設立する都市インフラ開発公社）」等）

2010年予算案（中央・地方）

歳入：7兆3,930億元（約96.8兆円）（前年執行額比8%増）

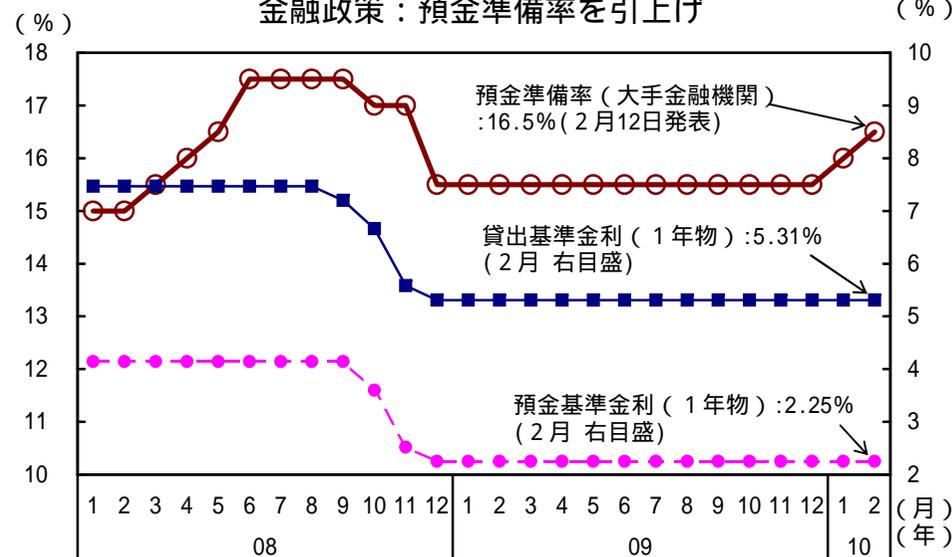
歳出：8兆4,530億元（約111.6兆円）（同11.4%増）

10年度の中央政府公共投資総額は9,927億元（約13兆円）  
（前年執行額比7.4%増（684億元増））

財政赤字：10,500億元（約13.7兆円）、対GDP比2.8%（前年予算額比1,000億元増）  
（中央政府分として8,500億元を計上。また、2,000億元の地方債を発行し、省レベルの予算に組入れ）

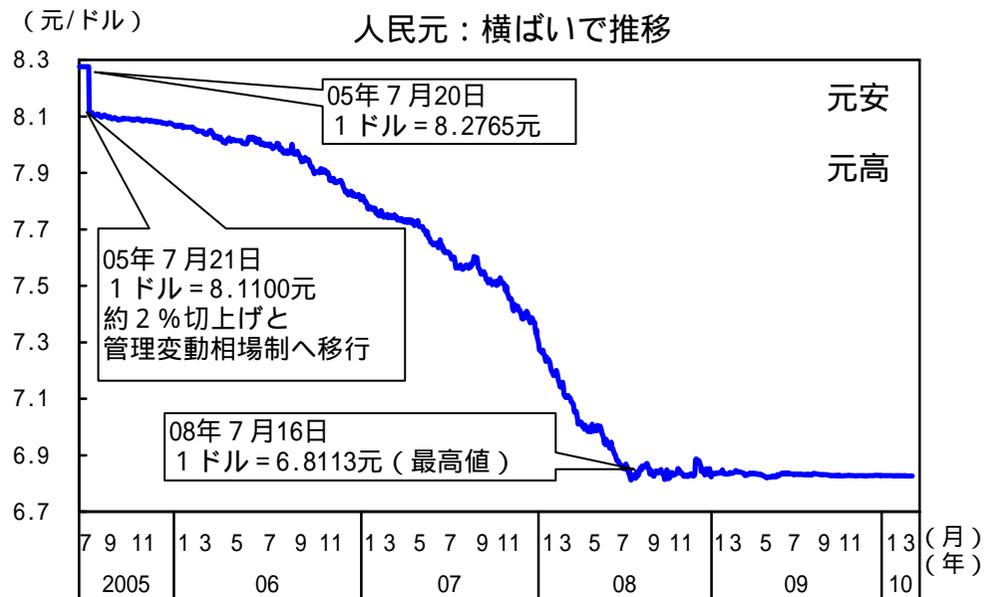
（備考）全国人民代表大会資料「政府活動報告」等より作成。

金融政策：預金準備率を引上げ



（備考）1. 中国人民銀行より作成。  
2. 08年7月以前は大手金融機関の預金準備率が公表されていないため、全体の預金準備率としている。

人民元：横ばいで推移



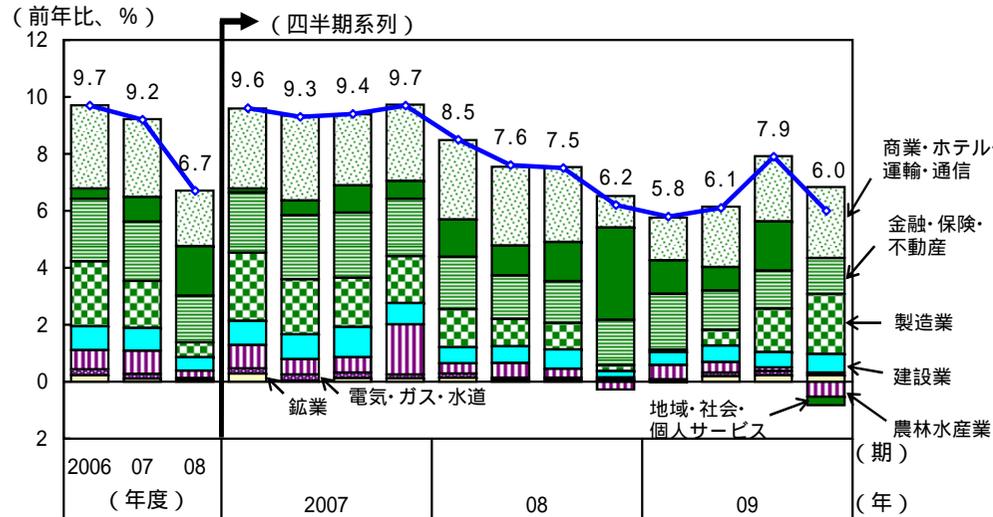
（備考）中国人民銀行等より作成。

## インド：

インドでは、景気刺激策の効果もあり、景気は内需を中心に回復している。  
先行きについては、引き続き内需が堅調に推移するとみられることから、回復傾向が続くと見込まれる。

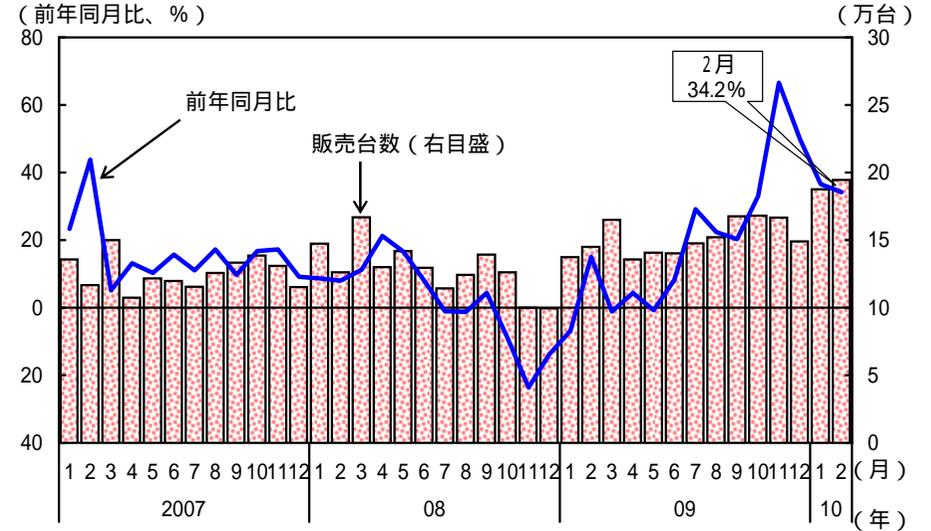
ただし、物価上昇によるリスクには留意する必要がある。

実質GDP成長率



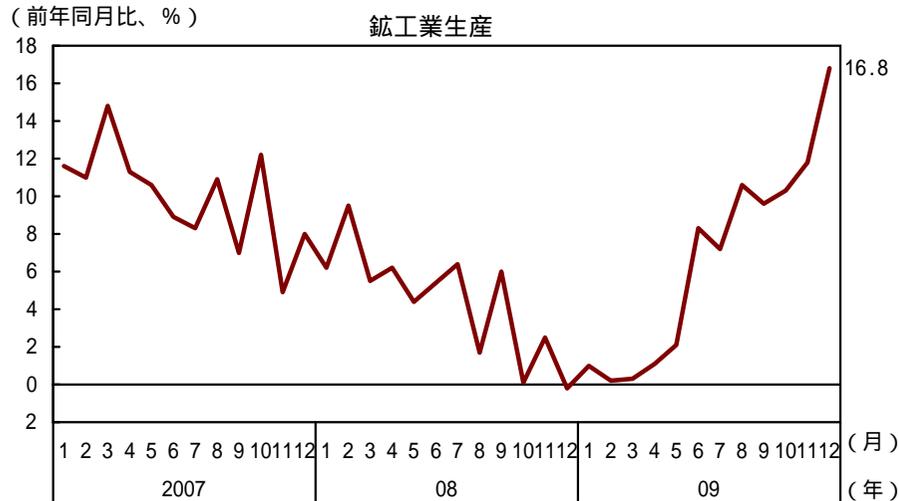
(備考) 1. インド中央統計局より作成。  
2. 年度は財政年度(4月~翌年3月)による。

## 国内乗用車販売は増加



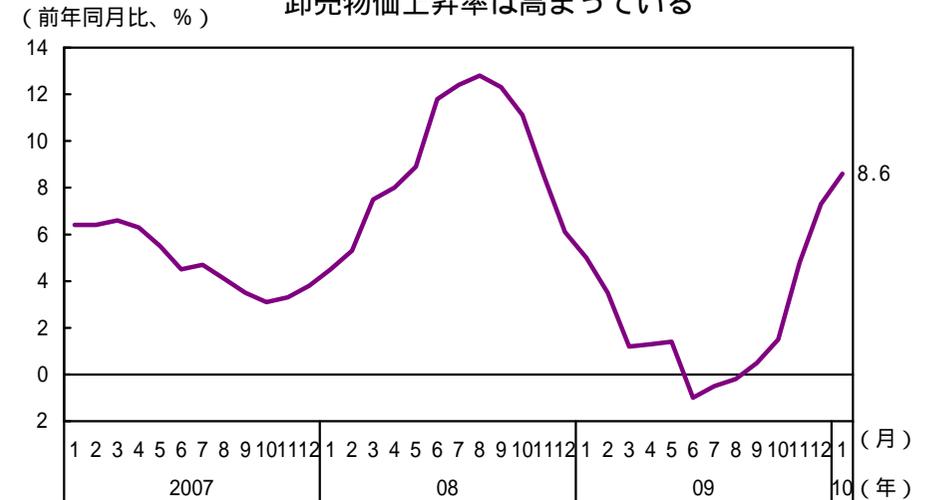
(備考) インド自動車工業会(SIAM)より作成。

## 生産は増加している



(備考) インド中央統計局より作成。

## 卸売物価上昇率は高まっている



(備考) 1. インド商工省より作成。  
2. 卸売物価上昇率はインド政府・金融当局が最も重視する物価指標。

インド政府、2010年度予算案を下院議会に提出（10年2月26日）

(1) 財政規模、財政収支見通し

- ・歳出は11兆875億ルピー（約21.4兆円）に拡大（09年度実績見込み額に比べて8.5%増）
- ・歳入は税収の増加や政府保有株売却、第3世代通信免許競売等が見込まれ、7兆2,734億ルピー（約14.0兆円）に拡大（同19.7%増）
- ・財政収支は引き続き赤字となる見込みだが、財政赤字の対GDP比は09年度の6.7%から5.5%へと低下する見通し

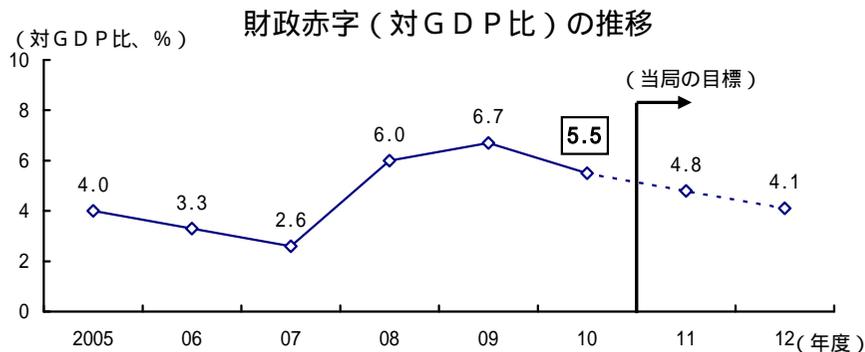
(2) 予算案の概要

- ・個人所得税の減税（超過累進課税段階の引下げ、政府発行の長期インフラ債購入に対する税額控除）
- ・08年度の三次にわたる景気刺激策で段階的に引き下げていた物品税<sup>注1</sup>（14.0% 8.0%）を10%に部分的に戻す。これに伴い、小型自動車<sup>注2</sup>にかかる物品税率が10%となるほか、大型自動車<sup>注3</sup> MUV/SUV車にかかる税率も20%から22%へと引き上げる。
- ・サービス税の課税対象の拡大
- ・計画支出<sup>注4</sup>の46%を占める1兆7,355.2億ルピーをインフラ開発に支出する等

(3) 財政再建に向けた取組

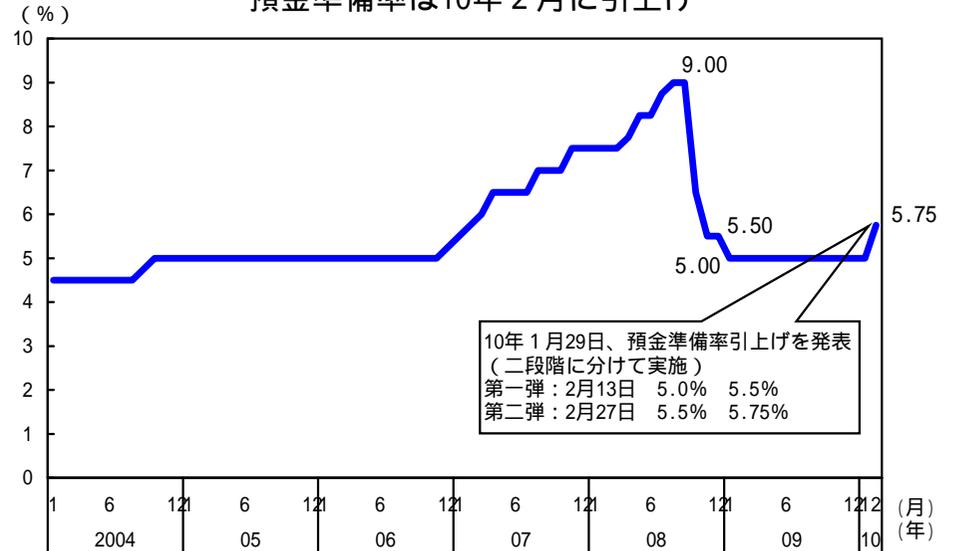
- ・11年度以降の財政健全化に向け、11年度における財政赤字対GDP比を4.8%、12年度を4.1%とする目標を盛り込んだ。

(注1) 対象品目ごとにかかる税率の中間値。石油製品を除く。  
 (注2) 車長4m以下、1,200cc以下のガソリンエンジンもしくは1,500cc以下のディーゼルエンジンを搭載する車。  
 (注3) 2,000cc超のエンジンを搭載する車。  
 (注4) 5か年計画事業に該当する支出。歳出は計画支出と非計画支出に分けられている。



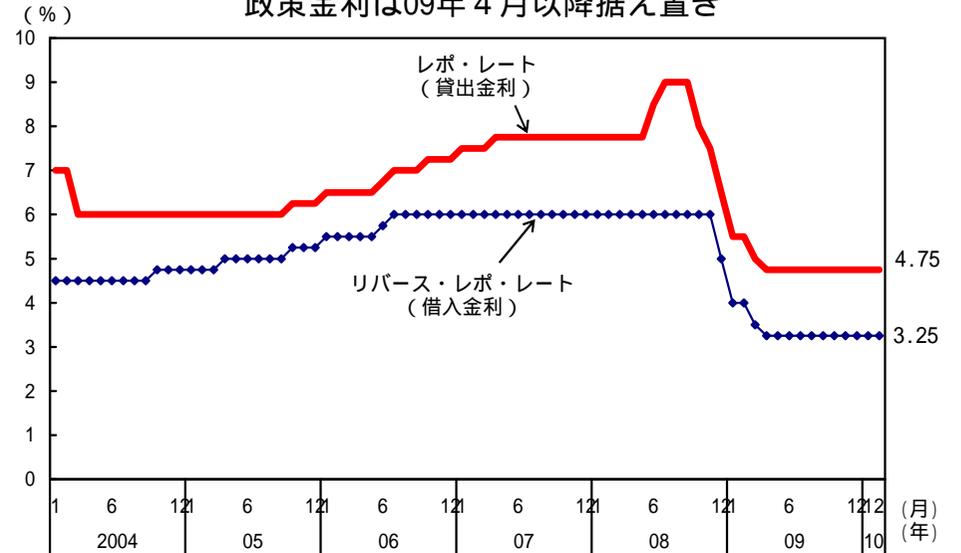
(備考) 1. インド財務省より作成。  
 2. 09年度の値は実績見込み、10年度の値は予算案ベース。  
 3. インドの財政年度は4月～翌年3月。

預金準備率は10年2月に引上げ



(備考) 1. インド準備銀行（中央銀行）より作成。  
 2. 09年10月27日、インド準備銀行（RBI）は、国内商業銀行が保有しなければならない国債やその他政府指定債券の預金総額に対する比率である「法定流動性比率（SLR: Statutory Liquidity Ratio）」を1%引き上げて25%とすると発表した（11月7日から実施）。

政策金利は09年4月以降据え置き

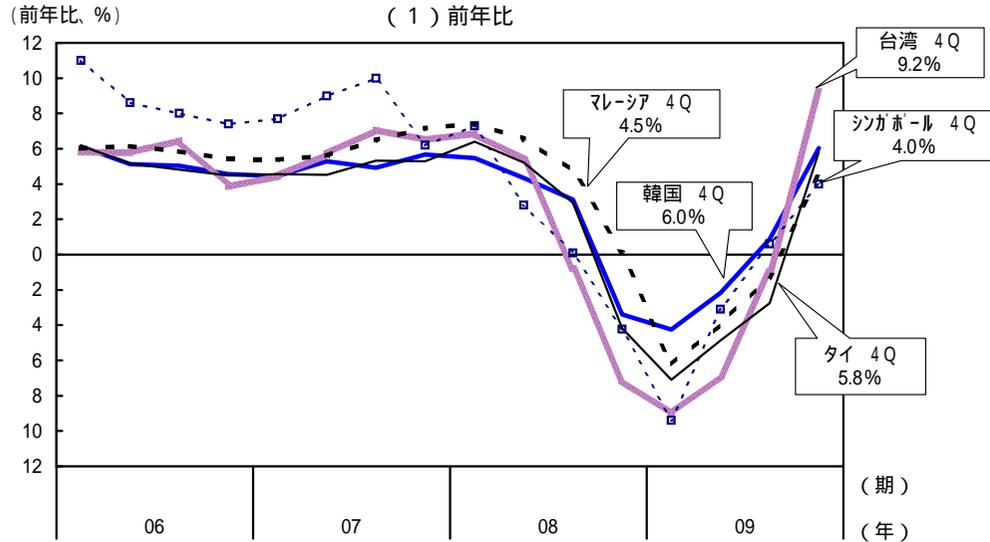


(備考) インド準備銀行（中央銀行）より作成。

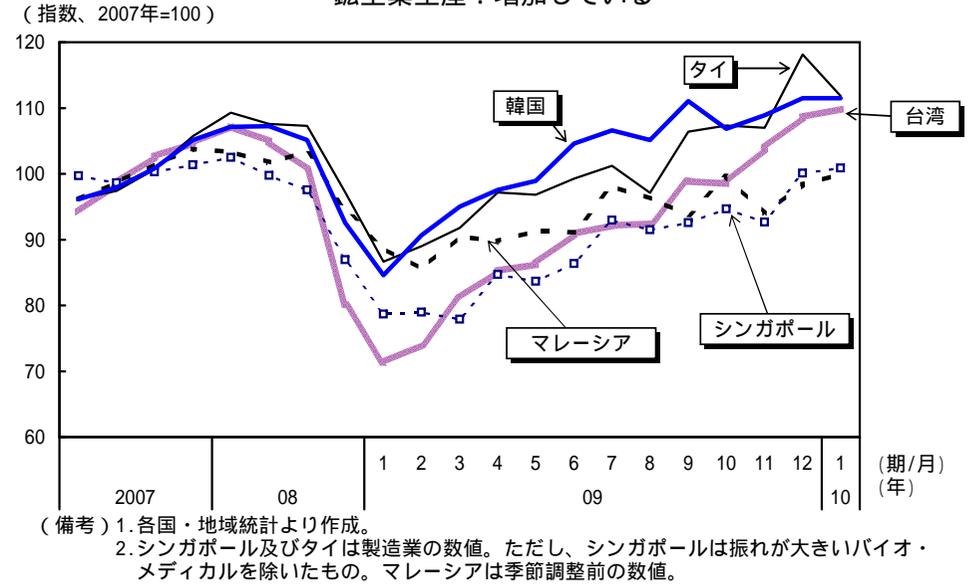
その他アジア地域：

その他アジア地域では、景気刺激策の効果や中国向け輸出の増加もあり、総じて景気は回復しつつある。先行きについては、引き続き中国向けの輸出が堅調に推移するとみられること等から、回復傾向が続くと見込まれる。ただし、欧米等先進国向けの輸出の低迷が続くこと等により、本格的な回復が遅れるリスクがある。

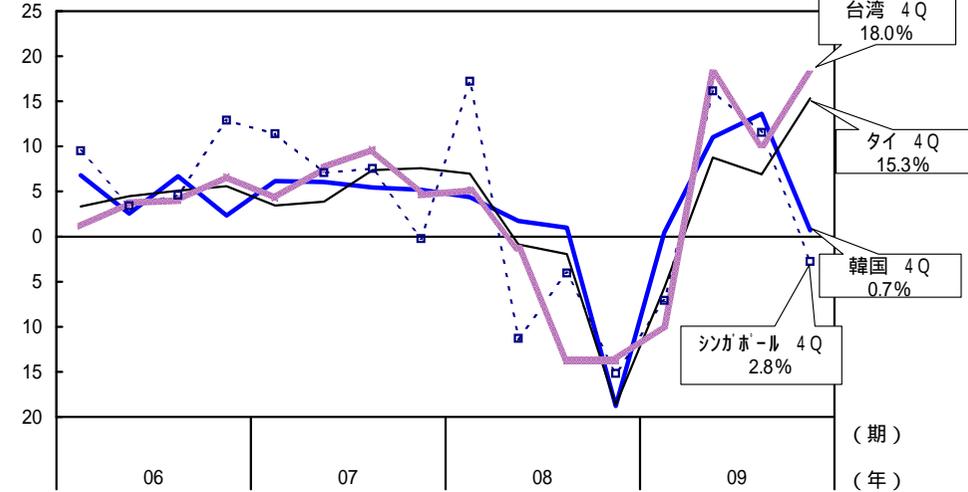
実質GDP成長率



鉱工業生産：増加している



(前期比年率、%) (2) 前期比年率



(備考) 各国・地域統計より作成。

輸出：増加している

